

JMD 年齢調整死亡率フォーマット

概要

JMD (Japanese Mortality Database)では現在、全国と各県の年齢調整死亡率(ASDR, Age-Standardized Death Rates)を、エクセルファイルと、Human Cause-of-Death Database (HCD)と同様の CSV ファイルで提供しています。

CSV ファイルのフォーマット

CSV ファイルは死因分類に応じて 5 つのファイルがあります。

ASDR_JMDCcs.csv – JMD 分類(cause) (詳細分類)

ASDR_JMDCgr.csv – JMD 分類(group) (概要分類)

ASDR_HI.csv – 人口動態統計年次推移分類(HI)

ASDR_CNDcs.csv – 人口動態統計簡単分類

ASDR_HCDcs.csv – HCD の中間分類(intermediate)

1 行目はヘッダー、2 行目は変数名で以下を表します。

prefecture – P00(全国), P01(北海道), P02(青森県), ..., P47(沖縄県)

sex – Female, Male and Both

list – 分類 (JMDCcs, JMDCgr, HI, CNDcs, and HCDcs)

agef – HCD の年齢フォーマットで開放区間が “95+”であることを示し、JMD では常に 3。なお、日本の年齢調整死亡率では、0 歳が 0～4 歳に含まれている。

cause – 死因番号

year – 年次

ASDR – 年齢調整死亡率(10 万対)

JMD 分類, 年次推移分類(HI), 簡単分類(CND), HCD の中間分類(intermediate)はエクセルファイルで提供されています。